

2	部分介助	時々確認をしたり、聞き返したりする必要がある。
3	全介助	通訳をする必要がある。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d345 書き言葉によるメッセージの表出 (文字を書き意思を伝える)

評価点		実行状況
0	自立	意思を伝えるために手紙などの文章を独力で書くことができる。
1	見守り・口頭指導	介助者が確認等する必要がある。
2	部分介助	介助者が付き添い、見本を示す必要がある。
3	全介助	介助者が一緒に考え、一緒に書く必要がある。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d350 会話 (一対一または多人数で議論する)

評価点		実行状況
0	自立	知り合いやよく知らない人とも会話ができる。
1	見守り・口頭指導	介助者がいれば、知り合いやよく知らない人とも会話ができる。
2	部分介助	介助者が本人の意図を汲んで言葉足しや確認等の介助が必要。
3	全介助	介助者が本人の意図を汲んで確認しながら代弁する必要がある。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d355 ディスカッション (一対一または多人数で議論する)

評価点		実行状況
0	自立	問題なく議論や討議ができる。
1	見守り・口頭指導	介助者が介在すれば、議論や討議ができる。
2	部分介助	介助者が本人の理解と意思を確認する必要がある。
3	全介助	介助者が本人が理解できるよう説明し、本人の意思を汲んで伝える必要がある。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d360 コミュニケーション用具および技法の利用（電話やメールを用いて意思伝達を行う）

状況）電話による友人との意思伝達

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者の見守りがあれば電話などで意思伝達を行うことができる。
2	部分介助	介助者が仲介をする必要がある。
3	全介助	電話を受けたりかけたりする（電話機の操作から会話）には、常に介助者の介助が必要。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

#### IV 運動・移動

d410 基本的な姿勢の変換（横になったり座ったりする）

状況）横たわる、椅子に座る、立つ

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	一人で横たわる、椅子に座る、立つことができるが、介助者が安全面などを配慮して場所を指示する必要がある。
2	部分介助	介助者が支持する、手を添える等の介助が必要。
3	全介助	介助者が支える等の介助が必要。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d415 姿勢の保持（座る、立つなどの姿勢を保つ）

状況）必要に応じて、一定の時間、床に椅子なしで座っている・椅子に座っている・立っていることができる。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	必要に応じて、一定の時間、椅子に座っている・立っていることができるが、介助者が安全面などを考慮して声かけをする必要がある。
2	部分介助	介助者が声をかける、手を添える等の介助が必要。
3	全介助	介助者が声をかけ、常に手を添える等の介助が必要。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d420 乗り移り（座ったり寝たりしたまま移動する）

状況）姿勢を変えずにベンチの上で横に移動する、ある椅子から隣の椅子へと移動する、車椅子から椅子へと移動する。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	一人で乗り移りできるが、介助者が安全面を配慮する必要がある。
2	部分介助	介助者が声をかける、手を添える等の介助が必要。
3	全介助	介助者の支えが必要。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d430 持ち上げることと運ぶこと（物を手で持って運んだり背中に担いで運ぶ）

状況）給食のトレイを運ぶ

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	一人で持ち上げることと運ぶことができるが、介助者の見守り・確認が必要。
2	部分介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介助者が、トレイを手渡しする必要がある。</li> <li>・ 配膳に関しては介助者の支援を必要とするが、下膳についてはできる（見守り等支援が必要な場合もある）。</li> </ul>
3	全介助	・ 配膳も下膳も、介助者が一緒に行う必要がある。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d435 下肢を使って物を動かすこと（ボールを蹴ったり自転車をこいだりする）

状況）ボールを蹴る。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が、ボールの位置等を声かけする必要がある。
2	部分介助	介助者の声かけと、手を添える等の介助を必要とする。
3	全介助	介助者が本人の体を支える等の介助を必要とする。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d440 細かな手の使用（物をつまんだり取っ手を握ったりする）

状況）鉛筆をつまみ上げて握る。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が声をかける等する必要がある。
2	部分介助	介助者が、本人が鉛筆をつまみやすいように配慮する必要がある。
3	全介助	介助者が、本人が鉛筆をつまみやすいように配慮し、また、握るのには手を添える必要がある。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d445 手と腕の使用（ドアを押し引きや、ボールを投げる）

状況）ボールを拾って投げる

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が、ボールの位置等を声かけする必要がある。
2	部分介助	介助者の声かけと、手を添える等の介助を必要とする。
3	全介助	介助者が一緒に行く必要がある。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d450 歩行（長距離を、様々な地面で、障害物を避けながら歩く）

状況）さまざまな地面で障害物を避けながら歩く。（かがやき→竜南公園）

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が、段差や障害物があることを声かけする必要がある。
2	部分介助	介助者が、声をかけ付き添うことが必要。
3	全介助	介助者が、安全面を配慮し、手を添える等の介助が必要。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d455 移動（階段を上り下りしたり、走ったり、水泳したりする）

状況）階段を上り下りする。

評価点		実行状況
0	自立	

1	見守り・口頭指導	介助者の見守りが必要。
2	部分介助	介助者が手を添える等の介助をする必要がある。
3	全介助	介助者が、体を支えるよう手を添える等の介助をする必要がある。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d460 さまざまな場所での移動(屋内外や街路を歩行して移動する)

状況)街路を歩行して移動する

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が、声かけする必要がある。
2	部分介助	介助者が、声をかけ付き添うことが必要。
3	全介助	介助者が、安全面を配慮し、手を添える等の介助が必要。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d465 用具を用いての移動(車椅子やスケートなどの用具を用いて移動する)

状況)車椅子を用いてセンター構内を移動する。

評価点		実行状況
0	自立	自分で、周りの安全に配慮しながら車椅子を操作し、移動できる。
1	見守り・口頭指導	介助者が、周りの状況や路面についての声かけをする必要がある。
2	部分介助	介助者が、状況に応じて介助する必要がある。
3	全介助	介助者の付き添い、または、押すなどの介助が必要。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d470 交通機関や手段の利用(自家用車やバス、飛行機などで移動する)

状況)電車やバスを利用して目的地まで移動する。

評価点		実行状況
0	自立	目的地まで、間違いなく電車やバスを使うことができる。
1	見守り・口頭指導	乗降の場所について、前もって声かけをする必要がある。
2	部分介助	乗降車の場所と乗降時については、介助が必要。
3	全介助	介助者が常に付き添う必要がある。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d475 運転や操作（自転車や自動車などを運転する）

状況）自転車を操作する。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が、安全面に配慮し声をかける必要がある。
2	部分介助	介助者が、状況（乗り降りやブレーキ等）に応じて介助する必要がある。
3	全介助	介助者が支える必要がある。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d480 交通手段として動物に乗ること（馬など動物に乗って移動する）

評価点		実行状況
0	自立	自分で、周りの安全に配慮しながら移動できる。
1	見守り・口頭指導	介助者が、安全面に配慮し声をかける必要がある。
2	部分介助	介助者が、状況に応じて介助する必要がある。
3	全介助	介助者が支える必要がある。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

## V セルフケア

d510 自分の身体を洗うこと（体を洗い、拭き乾かす）

状況）入浴すること

評価点		実行状況
0	自立	入浴に関する一連の行動が自立している。
1	見守り・口頭指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な時に声かけをする必要がある。</li> <li>てんかん、麻痺や発作の為、見守りを必要とする。</li> <li>入浴に対するこだわりがあるため、声かけを必要とする。</li> </ul>
2	部分介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>湯船の出入り等、必要に応じて介助を必要とする。</li> <li>てんかん、麻痺や発作の為、介助を必要とする。</li> <li>入浴に対するこだわりがあるため、介助を必要とする。</li> </ul>
3	全介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>湯船の出入り、洗体、乾かすこと、すべてに関して介助が必要。</li> <li>てんかん、麻痺や発作の為、常に介助を必要とする。</li> <li>入浴に対するこだわりがあるため、常に介助を必要とする。</li> </ul>
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない

9	行えない (含：禁止)	
---	-------------	--

d520 身体各部の手入れ (肌や歯、髪、爪などを整える)

状況) 歯磨きをする

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	声かけをすれば、丁寧に歯を磨くことができる。
2	部分介助	磨きの不十分な所について、介助を必要とする。
3	全介助	歯磨き一連の行為について、常に介助を必要とする。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d530 排泄 (排尿・便、生理のケアをする)

状況) 排泄 (生理・排尿・排便) を計画し、遂行するとともに、その後清潔にすること。

例) ①尿意、便意を表出する。②排尿、排泄に適した場所を選び行く。③排尿排便前後に身体をきれいにする。④生理用品を用いる。⑤オムツや特殊な排泄器具を使用する。

評価点		実行状況
0	自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>ズボンの上げ下げ、拭くこと等、一連の排泄についての行為が自立している。</li> <li>失禁の後始末が自分でできる。</li> </ul>
1	見守り・口頭指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>排尿、排泄について声かけ、確認を必要とする。</li> <li>発作等があるため、見守りが必要。</li> <li>失禁の後始末に、声かけが必要。</li> <li>生理時、ナプキンの使用について声かけを必要とする。</li> </ul>
2	部分介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレまでの移動はできるが、排泄の準備・後始末、整容について一部介助が必要。</li> <li>失禁等の後始末に、介助を必要とする所がある。</li> <li>ナプキンの使用に一部介助が必要。</li> </ul>
3	全介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレまでの移動を含め、排泄の準備・後始末について全て介助が必要。</li> <li>失禁の後始末に、介助が必要。</li> <li>生理時は、常に介助が必要。</li> </ul>
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d540 更衣（衣服の着脱、選択をする）

状況）社会的状況と気候条件に合わせて、順序だった衣服と履物の着脱を手際よく行う。

例）①かがやきで作業服←→私服への着替え。②面接や社会体験での衣服の選択。③暑い時に半そでになる、寒いときに上着を羽織るなどの判断。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の選択、着替えの準備についての指示、助言が必要。</li> <li>上着がはみ出していることやボタンのかけ違い等について、声かけが必要。</li> </ul>
2	部分介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の前後の確認等に介助が必要。</li> <li>ボタン、ファスナー等に介助が必要。</li> <li>上着は着られるが、一部の衣服（靴下など）については介助が必要。</li> </ul>
3	全介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ではほとんど着ることができず、全て介助が必要。</li> </ul>
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	

d550 食べること（食べ物を箸などで口に運んだり会食をしたりする）

状況）かがやきでの給食の状況で判断

例）①箸やフォーク・スプーンを使い、食べ物を細かく切ったり砕いたりする。②箸やフォーク・スプーンで食べ物を口へ運ぶ。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>こぼしがある、誤嚥の危険性など、さまざまな理由で見守りや口頭指導が必要。</li> </ul>
2	部分介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>刻み食やミキサー食にする等の介助が必要。</li> <li>一人で食べられるが、時間がかかりすぎるため、一部介助が必要。</li> </ul>
3	全介助	全て介助が必要。
4	していない（含：禁止）	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない（含：禁止）	



d560 飲むこと(缶ジュースを開け、ストローなどを用いて飲む)

状況)文化的に許容される方法で飲み物の容器を取り、口に運び、飲むこと。(かがやきでの給食時の状況で判断)

例)①やかんのお茶をコップに注ぎ飲む。②牛乳などをストローで飲む。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	・ こぼしがある、過飲、等、さまざまな理由で見守りや口頭指導が必要。
2	部分介助	・ ストローの袋をあける、過飲防止のためあらかじめコップにお茶を用意しておく、等、一部介助が必要。
3	全介助	全て介助が必要。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d570 健康に注意すること(体調に気をつける)

状況)バランスのとれた食事を摂る、風邪予防のうがい・手洗い、体がだるい時に早く寝る、健康維持のため歩行を行う、冷暖房を使用して温度調節を行う、予防接種や定期的な健康診断を受ける...

評価点		実行状況
0	自立	食事の量や体調の管理、服薬について全て自分でできる。
1	見守り・口頭指導	・ 必要に応じて声かけを必要とする。 ・ 発作の見守りを必要とする。 ・ 服薬管理について、声かけを必要とする。
2	部分介助	食事や生活リズムについて、ある程度の管理が必要。
3	全介助	栄養士や看護師などによる管理を必要とする。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

## VI 家庭生活

d610 住居の入手

状況)家やアパート、その他の住宅を購入あるいは賃借し、家具調度を整えること。

評価点		実行状況
0	自立	一人でできる。
1	見守り・口頭指導	一人で言うことができるが、不十分な点について、説明等の介助が必要。
2	部分介助	介助者の仲介を必要とする。

3	全介助	介助者と共に考え行動する必要がある。
4	していない (含：禁止)	家族や介護者の付き添いがあれば住宅の賃借を行える可能性がある。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	将来的にも、家族や介護者の介助があっても、行える可能性が全くない。

d620 物品とサービスの入手(日常品を購入したり貯蔵したりする。)

状況)日々の生活に必要な食料、飲み物、衣服、清掃用具、燃料、家庭用品等を選択し、入手し、運搬し、貯蔵すること。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	一人で行うことができるが、不十分な所については声かけ等を必要とする。
2	部分介助	高価な物や特定の物を購入する時には介助を必要とする。
3	全介助	常に、家族あるいは介護者と共に、選択・入手・運搬・貯蔵を行っている。
4	していない (含：禁止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべて、家族あるいは介護者が行っている。</li> <li>一部の日常品(蛍光灯や石鹸など)については、不足している物を判断できることもある(例、切れている蛍光灯を指摘する等)</li> </ul>
8	不明	やっていないから分からない
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	日常生活に必要な物を理解する能力がないと思われる。

d630 調理(食事の調理、配膳をする)

状況)①食事を計画・準備し、②食材を加工して配膳できる。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者の助言を必要とする。
2	部分介助	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニューの選択や食材の準備等に介助が必要。</li> <li>食材の加工については、必要に応じて介助が必要。</li> </ul>
3	全介助	①、②の全てに介助が必要。
4	していない (含：禁止)	食事の計画・準備・調理・配膳は、すべて家族あるいは介護者が行っている。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	調理や配膳を行う能力がない。

d640 調理以外の家事(炊事、洗濯、掃除などを行う)

状況)①衣服を洗濯し(洗濯機・手洗い)、干す、たたむこと。②皿、鍋、調理道具を洗うこと。調理や食事の場所のテーブルや床を掃除すること。③居住部分の整頓、清掃。④始末するゴミの準備

評価点		実行状況
0	自立	①～④まで自分でできる。
1	見守り・口頭指導	介助者の声かけを必要とする。
2	部分介助	細かい部分で、介助者による確認や介助が必要。
3	全介助	一緒に行う等の支援が必要。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d650 家庭用品の管理(衣服や家具、電化製品などを手入れする)

状況)①衣服のボタンの付け直し、アイロンがけ、②家具や電化製品の手入れ、③福祉用具(義肢、車椅子)の手入れ・補修、④植物の手入れや動物の世話

評価点		実行状況
0	自立	①～④まで自分でできる。
1	見守り・口頭指導	介助者の声かけを必要とする。
2	部分介助	細かい部分で、介助者による確認や介助が必要。
3	全介助	一緒に行う等の支援が必要。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d660 他者への援助(他者の食事や入浴の介助を行う)

状況)祖父母のお見舞いに行ったとき等に、食事を食べさせる等の介助を行うことがある。

評価点		実行状況
0	自立	自分から他者への援助を行うことができる。
1	見守り・口頭指導	介助者の声かけと見守りを必要とする。
2	部分介助	細かい部分で、介助者による確認や介助が必要。
3	全介助	一緒に行う等の支援が必要。
4	していない(含:禁止)	現在は、他者への援助を行っていないが、そのような機会があれば、少しでも行うことができる可能性がある。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	他者への援助を行う能力がないと思われる。

## VII 対人関係

### d710 基本的な対人関係(状況に応じて適切に他者と関わる)

状況)かがやきにおける、他利用者との対人関係から判断。適切な思いやりや敬意を示すこと、他人の気持ちに適切に反応すること

評価点		実行状況
0	自立	適切な思いやりや敬意を示し、適切な対人関係を持つことができる。
1	見守り・口頭指導	適切な対人関係について、介助者の見守りや声かけを必要とする。
2	部分介助	適切な対人関係について、時々介助者の仲介を必要とする。
3	全介助	トラブルが多い、適切な思いやりや敬意の表現方法等、常に支援を必要とする。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	他者からの働きかけに対する反応が全くない。

### d720 複雑な対人関係(社会的ルールや慣習に従って他者と関わる)

状況)感情や衝動、攻撃性を制御し、友好的対人関係を維持できる。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	友好的対人関係を維持するには、声かけ・見守りが必要。(感情や衝動、攻撃性の制御に対して声かけ・見守りが必要)
2	部分介助	友好的対人関係を維持するために、時々介助者の仲介を必要とする。
3	全介助	トラブルが多く、常に支援を必要とする。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

### d730 よく知らない人との関係(知らない人に道を尋ねたり挨拶をしたりする)

状況)お店で食事の注文などをする。道やバスを尋ねる。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	声かけを必要とする。
2	部分介助	尋ね方や相手からの返事理解などに関して、支援が必要。
3	全介助	介助者が、常に本人の意思確認をする必要がある。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d740 公的な関係(職場の上司や関係者と適切に関わる)

状況)施設長、施設職員に対して、自分の満足や不満足、ニーズを伝えることができる。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が確認の声かけをする必要がある。
2	部分介助	介助者が、本人の意思を汲み取り確認することが必要。
3	全介助	介助者が、本人の意思を汲み取り言葉を促す必要がある。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d750 非公式な社会的関係(友人や隣人と関係を作り保つ)

状況)かがやきや、かがやき外のサークルで友人関係を作り保つこと。

評価点		実行状況
0	自立	適切な思いやりを示し、適切な友人関係を作り保つことができる。
1	見守り・口頭指導	適切な友人関係を作り保つため、介助者の見守りや声かけを必要とする。
2	部分介助	適切な友人関係を作り保つため、時々介助者の仲介を必要とする。
3	全介助	トラブルが多い等、常に支援を必要とする。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	他者からの働きかけに対する反応が全くない。

d760 家族関係(親子、兄弟姉妹や親類と関係を作り保つ)

状況)家族に、自分の要求や気持ちを伝えることができる。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者(家族)が介在し、声かけや見守りをする必要がある。
2	部分介助	介助者が、本人の理解と意思を確認する必要がある。
3	全介助	介助者が、本人が理解できるよう家族の言葉を説明し、本人の意思を汲んで家族に伝える必要がある。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d770 親密な関係(親密な夫婦、恋人関係を維持する)

評価点		実行状況
0	自立	好きな人を見つけ、アプローチをし、恋人関係を維持することができる。
1	見守り・口頭指導	介助者が仲介することで、適切な異性関係を保つことができる。
2	部分介助	環境調整の必要がある。
3	全介助	意思伝達やトラブル等のため、常に支援を必要とする。
4	していない(含:禁止)	今後、状況が整えば、恋愛関係を作ることのできる可能性がある。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	他人に対する興味を持つことができない。

VIII 主要な生活領域

d810 非公式な教育(親から技能を学んだり、家庭教育を受ける)

状況)親から、日常生活に必要な技能(調理、掃除、洗濯、銀行の使い方、新聞の読み方等)を学ぶ。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	家族からの声かけが必要。
2	部分介助	家族が、時折、一緒に行く必要がある。
3	全介助	家族が、一緒に行く必要がある。
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d815 就学前教育

かがやき利用者→9 非該当

d820 学校教育(学校で他の生徒と協調して学ぶ)

かがやき利用者→9 非該当

d825 職業訓練(職業訓練を受ける)

状況)専門技術(パソコン等)を学ぶために訓練を受ける。

評価点		実行状況
0	自立	自分から、専門技術を学ぶため、訓練を受けることができる。
1	見守り・口頭指導	介助者からの勧めがあれば、職業訓練を受けることができる。
2	部分介助	交通手段や訓練内容の理解等、必要な場面に応じて介助が必要。
3	全介助	常に介助者が付き添っている必要がある。
4	していない(含:禁止)	

8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d830 高等教育(大学や専門高等教育機関で学ぶ)

かがやき利用者→9 非該当

d840 見習研修(見習研修を受ける)

状況)雇用の準備に関連したプログラムへの従事ができる。

評価点		実行状況
0	自立	一人で研修等を受けることができる。
1	見守り・口頭指導	声かけや励まし等があれば、一人で研修等を受けることができる。
2	部分介助	交通手段や現場での指示や説明の理解・実行等、必要な場面に応じて介助が必要。
3	全介助	常に介助者が付き添っている必要がある。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d845 仕事の獲得・維持・終了(仕事を見つけ仕事につき職務を遂行する)

評価点		実行状況
0	自立	一人で、職探し、仕事の継続ができる。
1	見守り・口頭指導	履歴書の作成、雇用主への連絡と面接の準備、仕事の継続等に関して介助者からの助言が必要。
2	部分介助	求職・仕事の継続に関して、定期的に介助者から雇用主・本人への助言や支援が必要。
3	全介助	求職・仕事の継続に関して、常に介助者の支援が必要。
4	していない (含：禁止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用されるために必要な行動はとっていない。</li> <li>・ 仕事につきたいという意味はない。</li> <li>・ 仕事を行う能力はあるが、行っていない。</li> </ul>
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	就労能力がない。

d850 報酬を伴う仕事(賃金を得て労働に従事する)

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者が、本人に、目標を持つような声かけをする必要がある。
2	部分介助	介助者が、本人と共に目標を立て、達成動機を高める励ましをする必要がある。
3	全介助	常に、目標を確認する、達成動機を高める等の支援が必要。

4	していない (含：禁止)	・ 就労したいという意思がない。 ・ 就労する能力はあるが、行っていない。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	就労能力がない。

※かがやき利用者→評価点4、8、9

d855 無報酬の仕事(ボランティアや奉仕活動に従事する)

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	介助者の声かけや促しが必要。
2	部分介助	交通手段や現場での行動等、必要な場面に依じて介助が必要。
3	全介助	介助者が、常に一緒に行動する必要がある。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d860 基本的な経済取引(金銭の使用や貯金をする)

状況)食べ物や飲み物を買う。

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	代金の支払い・つり銭の受取に関して、声かけが必要。
2	部分介助	代金の支払い・つり銭の受取に関して、介助者の見守り・確認が必要。
3	全介助	その都度金銭を渡す、釣銭を受け取ってやるなど、全面的な介助が必要。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d865 複雑な経済的取引(商品の売買や銀行口座を持つ)

状況)銀行口座の管理について

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	金銭出納をするには、見守りが必要。
2	部分介助	介助者が、本人の行う金銭出納に関して、必要に応じて管理・確認をする必要がある。
3	全介助	常に金銭出納の管理を必要とする。
4	していない (含：禁止)	環境を整えば金銭出納を行うことができる可能性はある。
8	不明	やっていないから分からない



9	行えない (含：禁止)	
---	-------------	--

d870 経済的自給(将来のニーズに対して財産を管理する)

状況)自分の所有する価値あるもの(有価証券等)が理解できており、その管理運用を行う。

評価点		実行状況
0	自立	自分の所有する価値あるものが理解できており、その管理・運用を自分で行うことができる。
1	見守り・口頭指導	介助者の助言が必要。
2	部分介助	介助者が、必要に応じて管理・確認をする必要がある。
3	全介助	介助者による管理を常に必要とする。
4	していない (含：禁止)	将来のニーズを本人が意識していない。しかし、環境を整えば、意識できる可能性がある。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	後見人制度を利用する等

## IX コミュニティライフ・社会生活・市民生活

d910 コミュニティライフ(地域グループに関与したり、結婚式などの式典に参加する)

状況)地域の祭り等、地域活動への関与

評価点		実行状況
0	自立	地域の祭りに一人で参加できる。
1	見守り・口頭指導	声かけを必要とする。
2	部分介助	慣例に従い行動するには、介助者の助言が必要。
3	全介助	介助者の付き添いが常に必要。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d920 レクリエーションとレジャー(スポーツや旅行、趣味の活動を行う)

評価点		実行状況
0	自立	一人で、スポーツ(サークルやフィットネス等)や映画鑑賞等、趣味の活動を行うことができる。
1	見守り・口頭指導	介助者の声かけを必要とする。
2	部分介助	活動の補助について、支援が必要な場合がある。
3	全介助	活動の補助について、介助者の付き添いが常に必要。
4	していない (含：禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない (含：禁止)	

d930 宗教とスピリチュアリティ(宗教活動を行う)

状況) 宗教的な活動の意味を理解し行動できる。

評価点		実行状況
0	自立	宗教的な活動の意味を理解し、一人で行動できる。
1	見守り・口頭指導	
2	部分介助	
3	全介助	
4	していない(含:禁止)	
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d940 基本的人権の享受

状況) 自分が不利な立場にあるときに、拒否する権利を行使することができる。

評価点		実行状況
0	自立	拒否する権利を行使することができる。
1	見守り・口頭指導	介助者の助言が必要な場合もある。
2	部分介助	理解できるよう説明することや行動に対する支援が常に必要。
3	全介助	介助者が、本人の状況を汲み取り、支援することが常に必要。
4	していない(含:禁止)	基本的人権を享受していない、侵害されている状況。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	

d950 政治活動と市民権(社会的活動に関与したり、選挙に参加したりする)

状況) 市民として社会的活動に関与すること。(市民の意見交換の場等に、自分の意見を持ち、自発的に参加することができる。)

評価点		実行状況
0	自立	
1	見守り・口頭指導	声かけや情報提供等あれば、参加できる。
2	部分介助	強い動機付けが必要。
3	全介助	介助者の付き添いが常に必要。
4	していない(含:禁止)	参加していない。
8	不明	やっていないから分からない
9	行えない(含:禁止)	参加する能力がない。

## Ⅱ. 分担研究報告

### 4. 知的障害児施設における機能退行の実態調査

西脇俊二

知的障害児施設における機能退行の実態調査

分担研究者 西脇俊二

秩父学園 医務課長

研究要旨

知的障害者でしばしば経験される退行症状の実態と要因を明らかにするため、国際生活機能分類（ICF）をもとに作成した調査票を用いて、知的障害児施設における機能障害と活動と参加状況について調査した。最重度な知的障害を有する平均年齢 27 歳の対象者 50 名の一人あたりの機能障害該当項目数は平均 18 項目あり、最小は 13 項目、最大は 30 項目であった。領域別では「精神機能」、「音声・発話に関する機能」に障害が多かった。現在の活動については 5 割以上の項目に制限を認め、「セルフケア」、「一般的な課題と要求」、「学習と知識の応用」に多かった。ただし、6 割以上の項目で、よりよい支援があればもっと出来そうと考えられており、現在の状態が必ずしも最大の能力ではない可能性も示唆された。5 年後さらに支援が必要となりそうな項目は、中年層では「運動・移動」、「セルフケア」で、若年層で「主要な生活領域」、「コミュニケーション、対人関係」で多く認められた。

機能障害や活動制限には個別の障害に起因することもあるが、二次的な要因によって予防可能と考えられるものもある。したがって、障害固有の機能障害や活動制限の実態を明らかにすることにより、個々の機能障害を予防し活動制限を軽減していくことが期待される。

A. 研究目的

知的障害者施設に入所している障害者の中には、在園在所年数が長期にわたる者も少なくない。その経過において、身体・精神機能および日常生活行動において「それまでできていたことができなくなる」、あるいは「機能水準が低下する」といった退行現象と思われる状態を呈する者を経験することがある。

本研究では、機能退行の実態と引き起こす要因について明らかにするため、2001 年に改訂された国際障害分類即ち、国際生活

機能分類（International Classification of Functioning, Disability and Health; ICF）に基づいて作成された新たな調査票を用いた。

そして、現在の「機能障害」および「活動と参加」の状況について調査し、とくに自閉症合併例についても比較検討し、障害特性が与える影響についても考察した。

B. 研究方法

ICF をもとに、機能障害と現在している活動について、別の分担研究者により呈示された調査票、すなわちそれぞれ 77 項目、